

1 2018年 糸島市の主な出来事

■主な出来事

- 月形市政2期目がスタート（甘利副市長、家宇治教育長就任）
- 糸島市の住民基本台帳人口数が過去最高を更新（11月末：10万1,586人）
- 宝島社『田舎暮らしの本』で「子育て世代が住みたい田舎」1位を獲得
- 観光入込み客数が632.9万人に（福岡県観光入込客数推計調査結果発表）
- マダイ漁獲量6年連続日本一（農林水産関係市町村別統計）
- ファミリー・サポート・センター事業開始
- 「平成30年7月豪雨」により、市内各地に被害発生
- 市内初の校区避難所運営訓練実施
- 九州大学の統合移転完了



■2018年の総括

- ◎九州大学の統合移転完了、人口の過去最高値更新のニュースは大変喜ばしい。
人口の増加、特に高齢者や外国人が今までにない規模で増加することなどが予想されるため、関連施策に力を入れていきたい。
- ◎一方で、7月の豪雨災害をはじめ、全国各地で発生した災害を受け、これまでの災害に対する認識や対応を改めなければならないと改めて感じた。
新たなシステムや体制、マニュアルを整え、自主防災組織等としっかり連携しながら、市民の皆様とともに、災害につよいまちづくりを進めていく。
- ◎2期目がスタートした年であり、新たな公約実現に向けた事業が本格的にスタートした。
「オンリーワン」のまちを目指し、公約に掲げる10の施策実現に向けて、しっかりと取組を進めていきたい。

【公約1】災害に強いまちづくり

- ・防災ハンドブック作成
- ・校区避難所運営訓練実施
- ・ため池耐震調査業務
- ・公共下水道事業（雨水管渠整備）

【公約2】子育て全力応援のまちづくり

- ・ファミリー・サポート・センター開所
- ・施設型給付事業（小規模保育事業）
- ・前原南小学校放課後児童クラブ整備

【公約3】教育力向上のまちづくり

- ・学校施設・設備整備
（前原中学校屋上防水工事、前原南小学校校舎、
桜野小学校屋内運動場、波多江小学校給食室・
消防設備、姫島小学校校舎外壁など）
- ・英語教育の充実
- ・学校問題解決支援
- ・不登校対応指導員配置
- ・特別教育へのICT活用研究

【公約4】地域福祉の充実と健康寿命を延ばすまちづくり

- ・我が事・丸ごと地域づくりの推進
- ・ヤングシニア生きいきプロジェクト関連事業
- ・特定健康診査受診率向上対策
- ・胃がんリスク検査

【公約5】糸島ブランドを生かした産業振興と定住促進のまちづくり**（農業関連）**

- ・糸島市担い手農家支援事業
- ・水田農業担い手機械導入支援事業
- ・活力ある高収益型園芸産地育成事業
- ・博多和牛ブランド強化対策事業
- ・福吉元気づくり事業
- ・糸島極旨ブドウ栽培支援事業

（水産業関連）

- ・水産物ブランド化推進事業
- ・水産生産基盤整備事業
- ・漁港機能増進事業

（商工業・観光業関連）

- ・地域おこし協力隊（観光）事業
- ・いとしまマーケティングモデル推進事業
- ・糸島版DMO設立支援事業
- ・直売所活性化事業
- ・おもてなし観光推進事業
- ・企業誘致事業

（インフラ関連）

- ・浦志自由通路線整備事業
- ・浦志南北交通広場整備事業
- ・新駅駅舎等整備事業
- ・（仮称）新駅北口停車場線整備事業
- ・新駅周辺整備事業

2 2018年の主な取組

【公約6】自然を守り、環境にやさしい循環型まちづくり

- ・エネルギー構造高度化・転換理解促進事業
- ・松林保全アダプト事業
- ・林業成長産業化地域創出モデル事業
- ・間伐実施体制構築事業
- ・糸島型森林再生プロジェクト事業



【公約7】市民協働と男女共同参画

- ・校区まちづくり推進事業
- ・市民提案型まちづくり事業



【公約8】九州大学と連携した学術研究都市づくり

- ・九州大学連携交流事業
- ・九大寺子屋事業
- ・九大生糸島生活熱烈応援事業



【公約9】将来を見据えた持続可能な自治体経営

- ・公共施設マネジメント推進事業
- ・人口減少地域活性化モデル地域実践活動支援事業
- ・定住促進情報発信事業
- ・U I J ターン「職・住・余暇」相談会事業
- ・体育施設インターネット受付システム導入事業
- ・収納管理システム等改修事業



【公約10】糸島市の夢プロジェクト

- ・地方バス路線運行事業
- ・自主運行バス事業